

総合工学委員会科学的知見の創出に資する可視化分科会
細胞-身体可塑基盤からの自分を知り育てる科学知見創出に資する可視化小委員会
(第25期・第2回)

議事録要旨

出席委員20名(敬称略): 小山田 耕二、大倉 典子、萩原 一郎、上野 佳奈子、梅津 理恵、山嵜 達也、跡見 順子、跡見 友章、岩城 光宏、川原 靖弘、小池 康晴、清水 美穂、塩満 典子、下村 武史、高野 渉、竹森 重、内藤 健、野崎 大地、福田 収一、本間 美和子

欠席委員6名(敬称略): 岩木 直、川内 敬子、菊池 吉晃、冨田 哲也、則内まどか、渡辺 敏行

1. 日時 令和3年7月5日(月) 16:00~18:00

2. 会場 遠隔会議

3. 議題

- (1) パワーポイントの説明「異分野の研究者が集まり、「細胞-身体可塑基盤からの自分を知り育てる科学」を生み出すための議論のために、「細胞-身体可塑基盤からの自分を知り育てる科学知見創出に資する可視化」小委員会で扱って欲しいトピックなど」~提出いただいた委員(15名)(5分程度ずつ)<資料25-2-1>

・人間は自分を知るようにはできていない。本委員会名にもなっている「細胞-身体可塑基盤」から、自分自身を俯瞰し言語化する事例を共有し、小委員会の目指すところの理解を深めた。

- (2) 話題提供(1)「認知症高齢者を対象とした音楽療法について—臨床研究を中心に—」小杉尚子先生(専修大学准教授)<資料25-2-2>

・概要: 認知症高齢者を対象とした音楽療法の臨床研究を行った。臨床現場では、歌唱や楽器演奏だけでなく、音楽に合わせて、体幹にアプローチする軽体操等も取り入れ、高齢者にも施設関係者にも好評だった。本日はその臨床研究の内容と結果について簡単に紹介する。

- (3) 話題提供(2) 総合知のための令和4年度大型科研費申請について
塩満典子委員(文部科学省科学技術政策研究所 上級シニアフェロー)<資料25-2-3>

・第6期科学技術・イノベーション基本計画のひとつの柱として総合知があり、学際的な人文社会科学との連携が重要。本小委員会のテーマはそれにマッチしており、非常に期待している。科研費申請書作成のプロフェッショナルとして、通るためのパターン認識について解説いただいた。

- (4) 総合討論

(5) 第1回オンラインシンポジウム開催計画について(10月)

- ・開催計画は了承された。プログラムについては追ってメールにて議論することになった。

(6) 提言作成計画について

- ・作成する方向性を確認した。